

論文審査の要旨

報告番号	乙 第 2962 号	氏 名	前澤 秀之
論文審査担当者	主査 小林 洋一 副査 瀧本 雅文 副査 田中 弘之		
<p>(論文審査の要旨)</p> <p>本研究の目的は、末梢動脈疾患 (PAD) に対する血管内治療 (EVT) を施行する際の末梢塞栓の高リスクとなる病変や、遊離した組織片の病理学的特徴を検討することである。末梢血管内治療では腸骨動脈病変、潰瘍形成病変、Virtual Histology 血管内超音波で necrotic core を有する病変が高リスクであるため、末梢保護デバイスを用いて末梢塞栓を予防することを検討する必要があること、また病理学的に末梢動脈疾患のプラークのほとんどが安定型であるが、一部では不安定型の特徴を有することが示されたと結論づけている。</p> <p>PAD への EVT の際に末梢保護を考慮する必要がある末梢塞栓高リスク病変と、実際に遊離した組織片の病理学的特徴を示した本論文は、臨床での有用性が高く学術的な価値もあり、学位論文に相当すると判断した。</p> <p>論文題名 : The histological characteristics and virtual histology findings of the tissues obtained by a distal protection device during endovascular therapy for peripheral artery disease</p> <p>掲載雑誌名 : Journal of Cardiology 2016 年 掲載予定</p>			

(主査が記載、500 字以内)